

紙芝居「戦争と狛江の子ども達」

上演会

子どもおとなも
きてね！

日時：3月25日（土）午前9：30開場

場所：中央公民館講座室

上演：第1回10：00～ 第2回10：45～

第3回11：30（1回30分です）



みなさんはウクライナでどんなことが起きているかテレビで知っていると
思います。爆弾が落とされ、家も、街もこわされ、いのちがうばわれ、
住むところをなくした子どもたちがおおぜいいます。戦争からのがれて、
周りの国や、遠く日本まで避難（ひなん）してきている人がいることは知
っていますね。狛江にもいらっしゃいます。

実は狛江にも今から80年くらい前に爆弾が落とされて小学校や家が
燃えてしまうということがありました。その頃日本はアメリカと戦争を
して、日本中に爆弾が落とされていました。みなさんの周りに、この頃の
ことをお話しできるお年寄りはいらっしゃいますか？

その頃の子どもたちは、どんな暮らしをし、どんなことを思い、体験し
たのかを伝える紙芝居があります。みなさんにぜひ知ってもらいたくて、
公民館のついでに紙芝居をお見せします。☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

おじさんが小学生の頃、
狛江にも戦争があつてね、
…、子どもの頃のつらくて悲
しい話を聞いてくれるかい。



狛江市の平和事業として終戦50年を記念して、主に狛江市で起きた出来事を中心に戦争体験をまとめた本「狛江・語りつぐ戦争体験—永遠の平和を願って」（1996.3）が出版されました。当時青少年であった6人



忘れもしない昭和20年5月25日の夜の
ことです。…焼夷弾の爆発した炎
は、二階建ての校舎に火柱を上げ、…

の方が編集し170人の方々の協力があつたそうです。編集者6人に画家の金子嘉一氏を加えて、子どもの目線に合わせた紙芝居「戦争と狛江の子ども達」（1998）を作成、発表会も行われました。複製を市内小中学校に配布しています。その後、展示機会はありましたが、上演されたのはまれだったようです。このたび、紙芝居として復活させようと考えました。

紙芝居制作者（敬称略） 画家：金子嘉一、
「語りつぐ戦争体験」編集者：田代 實、石井正子、
井上 孝、佐藤安正、塚原ヤエ子、横尾マツ枝

主催：こまえ平和フェスタ実行委員会 後援：狛江市
<http://komae-heiwa-fes.clean.to/>